

倉吉幼稚園（倉吉市仲ノ町、西田直美園長）が、園児の丈夫な体づくりの一環として取り組んでいる、土踏まずと下顎を形成する実践活動が4年目に入った。この3年間で、子どもの足の成長過程などが判明。同園では11日、自主公開研究発表会を開き、活動成果を報告する。

同園は、文科省の取り組みを契機に、2008年度から幼児期における発育に着目。特に、土踏まずや下顎の形成などについて研究してきた。

同園によると、足のトラブルは靴が大きな影響を及ぼす▽足の形成は8歳くらいまでかかる▽乳歯の間に下顎を形成して

園児の体づくり「足と顎」注目3年

いくことが永久歯の場所取りとなる一ことなどが分かった。

同発表会では、金城学

院大学の片瀬真由美教授による講演「足の成長と靴のお話」や、ミニシンポジウム「子どもの心身

23. 6. 2 倉吉幼稚園 11日に自主研究発表会



研究発表会で用意される打吹山を舞台にしたすごろく

データ蓄積で活動成果報告へ

は「足」と「歯」がつくる！～踏ん張り力と噛みしめ力」などを行う。

西田園長は「足遊びや靴選びなど、データも蓄積されてきた。積み重ねが大事だと考えている。子どもたちの足や歯について考えてあげることは、一生のプレゼントだと思う」と話している。

同発表会は、午前9時半から。10日まで一般参加者を募集している。参加者には、打吹山を舞台に足遊びや口遊びを盛り込んだすごろくと遊び方が書かれた豆手本がプレゼントされる。問い合わせは電話0858(22)4680、同園へ。

(八幡祥代)